

化学療法実施計画書（投与日程）

レジメン名＝乳癌FEC100

（対象疾病＝ ）

身長＝ _____ cm
 体重＝ _____ kg
 体表面積＝ _____ m²
 Ccr ＝ _____

担当医	

《初回開始日》 _____ 年 _____ 月 _____ 日
 今回[_____]クール目

薬剤 (商品名, 一般名)	1日投与量 (/m ² or /kg)	投与法 点静・静注	投与時間 (min)	1クール投与スケジュール(日目)																														
				1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17	18	19	20	21	22	23	24	25	26	27	28	29	30	
1 5-FU	500mg/m ²	点静	15	↓																														
2 エピルピシン塩酸塩(EPI)	100mg/m ²	点静	全開	↓																														
3 エンドキサン(CPA)	500mg/m ²	点静	30	↓																														
4																																		
前投薬	5-HT ₃ 拮抗薬 デキサメタゾン	1A 点静 9.9mg 点静		↓ ↓																														
投与日程																																		
副作用																																		
1クール期間	21日	クール回数	※	※通常6～8回をめどに施行し、最大10クールまで。 (エピルピシンは総投与量900mg/m ² を超えるとうっ血性心不全等の心障害リスクが上昇)																														
休薬期間																																		
☆予想される重篤副作用		骨髄抑制, 出血性膀胱炎, 心障害, 下痢, 嘔気・嘔吐, 脱毛																																
☆副作用対策		白血球1,000以下, 好中球500以下の時、G-CSF投与 嘔気対策としてはデキサメタゾンの前投薬、5-HT ₃ 拮抗薬等の使用。																																
☆実施中止条件	生化学項目 副作用 その他																																	

化学療法実施計画書（投与日程）

レジメン名=《1クール目》乳癌HER+WeeklyDOC

（対象疾病= _____）

《初回開始日》 _____ 年 月 日

今回[_____]クール目

身長= _____ cm

体重= _____ kg

体表面積= _____ m²

Ccr = _____

担当医

薬剤 (商品名, 一般名)	1日投与量 (/m ² or /kg)	投与法 点静・静注	投与時間 (min)	1クール投与スケジュール(日目)																														
				1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17	18	19	20	21	22	23	24	25	26	27	28	29	30	
1	ハーセプチン(HER)《初回》	4mg/kg	点静 90	↓																														
	ハーセプチン《2投目以降》	2mg/kg	点静 60																															
2	ドセタキセル(DOC)	30mg/m ²	点静 60	↓																														
前投薬	5-HT ₃ 拮抗薬	1A	点静	↓																														
	デキサメタゾン	8.25mg	点静	↓																														
投与日程																																		
副作用																																		
	1クール期間	28日	クール回数	1																														
	休薬期間																																	
	☆予想される重篤副作用		白血球減少、血小板減少(タキソテール) 心障害、24時間以内に発現するInfusion reaction(ハーセプチン)																															
	☆副作用対策		開始前心エコーでEF50%以上;初回時は入院してInfusion reactionについて監視 白血球1,000以下、好中球500以下の時G-CSF投与;好中球500以下で、発熱38℃以上の時G-CSF投与;抗生剤の内服																															
	☆実施中止条件	生化学項目 副作用 その他	WBC<2000 (Seg<1000) 強いアレルギー反応の出現																															

化学療法実施計画書（投与日程）

レジメン名=《1クール目》乳癌HER+3週毎DOC

（対象疾病= _____）

《初回開始日》 _____ 年 月 日

今回[_____]クール目

身長= _____ cm

体重= _____ kg

体表面積= _____ m²

Ccr = _____

担当医	

薬剤 (商品名, 一般名)	1日投与量 (/m ² or /kg)	投与法 点静・静注	投与時間 (min)	1クール投与スケジュール(日目)																																	
				1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17	18	19	20	21	22	23	24	25	26	27	28	29	30				
1	ハーセプチン(HER)《初回》	4mg/kg	点静	90	↓																																
	ハーセプチン《2投目以降》	2mg/kg	点静	30																																	
2	ドセタキセル(DOC)	70mg/m ²	点静	60	↓																																
前投薬	5-HT ₃ 拮抗薬	1A	点静		↓																																
	デキサメタゾン	8.25mg	点静		↓																																
投与日程																																					
副作用																																					
	1クール期間	21日	クール回数	1																																	
	休薬期間																																				
	☆予想される 重篤副作用		白血球減少、血小板減少(タキソテール) 心障害、24時間以内に発現するInfusion reaction(ハーセプチン)																																		
	☆副作用対策		開始前心エコーでEF50%以上;初回時は入院してInfusion reactionについて監視 白血球1,000以下、好中球500以下の時G-CSF投与;好中球500以下で、発熱38℃以上の時G-CSF投与;抗生剤の内服																																		
	☆実施中止条件	生化学項目 副作用 その他	WBC<2000 (Seg<1000) 強いアレルギー反応の出現																																		

化学療法実施計画書（投与日程）

レジメン名=《1クール目》乳癌HER+WeeklyPTX

(対象疾病=)

《初回開始日》 年 月 日

今回〔 〕クール目

身長= _____ cm
 体重= _____ kg
 体表面積= _____ m²
 Ccr = _____

担当医	

薬剤 (商品名, 一般名)	1日投与量 (/m ² or /kg)	投与法 点静・静注	投与時間 (min)	1クール投与スケジュール(日目)																												
				1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17	18	19	20	21	22	23	24	25	26	27	28	29
1 ハーセプチン(HER)《初回》	4mg/kg	点静	90	↓																												
ハーセプチン《2投目以降》	2mg/kg	点静	30																													
2 パクリタキセル(PTX)	80mg/m ²	点静	60	↓																												
前投薬	5-HT ₃ 拮抗薬	1A	点静	↓																												
	デキサメタゾン	6.6mg	点静	↓																												
	ファモチジン	20mg	点静	↓																												
	ポララミン	5mg	点静	↓																												
投与日程																																
副作用																																
1クール期間	28日	クール回数	1																													
休薬期間																																
☆予想される重篤副作用		ハーセプチン=心障害, 24時間以内に現れるInfusion reaction パクリタキセル=白血球減少, アレルギー反応(発疹、発熱、掻痒など), 末梢神経障害																														
☆副作用対策		・開始前心エコーでEF50%以上 ・初回は入院してInfusion reaction に関して観察する。 ・デキサメタゾン、ポララミンの使用 ・白血球1,000以下, 好中球500以下の時、G-CSF投与 ・好中球500以下で、発熱38℃以上の時G-CSF投与、抗生剤の内服。																														
☆実施中止条件	生化学項目 副作用 その他																															

化学療法実施計画書（投与日程）

レジメン名=《2クール目以降》乳癌HER+WeeklyPTX

(対象疾病=)

身長= _____ cm
 体重= _____ kg
 体表面積= _____ m²
 Ccr = _____

担当医

《初回開始日》 _____ 年 _____ 月 _____ 日

今回[_____]クール目

薬剤 (商品名, 一般名)	1日投与量 (/m ² or /kg)	投与法 点静・静注	投与時間 (min)	1クール投与スケジュール(日目)																																
				1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17	18	19	20	21	22	23	24	25	26	27	28	29	30			
1 ハーセプチン(HER) 《2クール目以降》	2mg/kg	点静	30	↓																																
2 パクリタキセル(PTX)	80mg/m ²	点静	60	↓																																
前投薬																																				
5-HT ₃ 拮抗薬	1A	点静		↓																																
デキサメタゾン	6.6mg	点静		↓																																
ファモチジン	20mg	点静		↓																																
ポララミン	5mg	点静		↓																																
投与日程																																				
副作用																																				
1クール期間	28日	クール回数																																		
休薬期間																																				
☆予想される 重篤副作用			ハーセプチン=心障害, 24時間以内に現れるInfusion reaction パクリタキセル=白血球減少, アレルギー反応(発疹、発熱、搔痒など), 末梢神経障害																																	
☆副作用対策			・開始前心エコーでEF50%以上 ・初回は入院してInfusion reaction に関して観察する。 ・デキサメタゾン、ポララミンの使用 ・白血球1,000以下, 好中球500以下の時、G-CSF投与 ・好中球500以下で、発熱38℃以上の時G-CSF投与、抗生剤の内服。																																	
☆実施中止条件	生化学項目 副作用 その他																																			

化学療法実施計画書（投与日程）

レジメン名=《1クール目》乳癌HER+3週毎PTX

(対象疾病=)

《初回開始日》 年 月 日

今回〔 〕クール目

身長= _____ cm
 体重= _____ kg
 体表面積= _____ m²
 Ccr = _____

担当医	

薬剤 (商品名, 一般名)	1日投与量 (/m ² or /kg)	投与法 点静・静注	投与時間 (min)	1クール投与スケジュール(日目)																																
				1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17	18	19	20	21	22	23	24	25	26	27	28	29	30			
1 ハーセプチン(HER)《初回》	4mg/kg	点静	90	↓																																
ハーセプチン《2投目以降》	2mg/kg	点静	60																																	
2 パクリタキセル(PTX)	210mg/m ²	点静	180	↓																																
前投薬	5-HT ₃ 拮抗薬	1A	点静	↓																																
	デキサメタゾン	16.5mg	点静	↓																																
	ファモチジン	20mg	点静	↓																																
	ポララミン	5mg	点静	↓																																
投与日程																																				
副作用																																				
1クール期間	21日	クール回数	1																																	
休薬期間																																				
☆予想される 重篤副作用		ハーセプチン=心障害, 24時間以内に現れるInfusion reaction パクリタキセル=白血球減少, アレルギー反応(発疹、発熱、掻痒など), 末梢神経障害																																		
☆副作用対策		・開始前心エコーでEF50%以上 ・初回は入院してInfusion reaction に関して観察する。 ・デキサメタゾン、ポララミンの使用 ・白血球1,000以下, 好中球500以下の時、G-CSF投与 ・好中球500以下で、発熱38℃以上の時G-CSF投与、抗生剤の内服。																																		
☆実施中止条件	生化学項目 副作用 その他																																			

化学療法実施計画書（投与日程）

レジメン名=《2クール目以降》乳癌HER+3週毎PTX

(対象疾病=)

《初回開始日》 年 月 日

今回[]クール目

身長= _____ cm
 体重= _____ kg
 体表面積= _____ m²
 Ccr = _____

担当医

薬剤 (商品名, 一般名)	1日投与量 (/m ² or /kg)	投与法 点静・静注	投与時間 (min)	1クール投与スケジュール(日目)																																
				1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17	18	19	20	21	22	23	24	25	26	27	28	29	30			
1 ハーセプチン(HER) 《2クール目以降》	2mg/kg	点静	60	↓													↓																			
2 パクリタキセル(PTX)	210mg/m ²	点静	180	↓													×																			
前投薬	5-HT ₃ 拮抗薬 1A	点静		↓																																
	デキサメタゾン 16.5mg	点静		↓																																
	ファモチジン 20mg	点静		↓																																
	ポララミン 5mg	点静		↓																																
投与日程																																				
副作用																																				
1クール期間	21日	クール回数																																		
休薬期間																																				
☆予想される 重篤副作用			ハーセプチン=心障害, 24時間以内に現れるInfusion reaction パクリタキセル=白血球減少, アレルギー反応(発疹、発熱、搔痒など), 末梢神経障害																																	
☆副作用対策			・開始前心エコーでEF50%以上 ・初回は入院してInfusion reaction に関して観察する。 ・デキサメタゾン、ポララミンの使用 ・白血球1,000以下, 好中球500以下の時、G-CSF投与 ・好中球500以下で、発熱38℃以上の時G-CSF投与、抗生剤の内服。																																	
☆実施中止条件	生化学項目 副作用 その他																																			

化学療法実施計画書（投与日程）

レジメン名＝乳癌3週毎nab-PTX

（対象疾病＝ _____ ）

《初回開始日》 _____ 年 _____ 月 _____ 日

今回〔 _____ 〕クール目

身長＝ _____ cm
 体重＝ _____ kg
 体表面積＝ _____ m²
 Ccr ＝ _____

担当医	

薬剤 (商品名, 一般名)	1日投与量 (/m ² or /kg)	投与法 点静・静注	投与時間 (min)	1クール投与スケジュール(日目)																												
				1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17	18	19	20	21	22	23	24	25	26	27	28	29
1 アブラキサン(nab-PTX)	260mg/m ²	点静	30	↓																												
2																																
3																																
4																																
前投薬	5-HT ₃ 拮抗薬 デキサメタゾン	1A 13.2mg	点静 点静	↓ ↓																												
投与日程																																
副作用																																
1クール期間	21日	クール回数																														
休薬期間																																
☆予想される 重篤副作用			骨髄抑制、末梢神経障害																													
☆副作用対策			頻回に臨床検査を実施、減量、休薬、G-CSF投与 ビタミン製剤(B1,B6)の投与(海外第Ⅲ相試験)																													
☆実施中止条件	生化学項目 副作用 その他																															

化学療法実施計画書（投与日程）

レジメン名＝《2クール目以降》乳癌HER+エリブリン

（対象疾病＝ _____ ）

《初回開始日》 _____ 年 _____ 月 _____ 日

今回〔 _____ 〕クール目

身長＝ _____ cm

体重＝ _____ kg

体表面積＝ _____ m²

Ccr ＝ _____

担当医	

薬剤 (商品名, 一般名)	1日投与量 (/m ² or /kg)	投与法 点静・静注	投与時間 (min)	1クール投与スケジュール(日目)																																		
				1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17	18	19	20	21	22	23	24	25	26	27	28	29	30					
1 ハラヴェン	1.4mg/m ²	点静	2～5	↓																																		
2 ハーセプチン(HER) 《2クール目以降》	2mg/kg	点静	30	↓																																		
前投薬 5-HT ₃ 拮抗薬	1A	点静		↓																																		
投与日程																																						
副作用																																						
1クール期間	21日	クール回数																																				
休薬期間																																						
☆予想される 重篤副作用		好中球減少、白血球減少、発熱性好中球減少、感染症、末梢神経障害、間質性肺炎 心障害、24時間以内に現れるInfusion reaction																																				
☆副作用対策		G-CSF、抗生剤投与 休薬、減量(1.4mg/m ² →1.1mg/m ² 、1.1mg/m ² →0.7mg/m ²) 開始前心エコーでEF50%以上、初回は入院してInfusion reactionに関して観察する。																																				
☆実施中止条件	生化学項目 副作用 その他	ALT,AST>施設基準値上限の5倍、総ビリルビン>施設基準値上限の3倍 好中球数<1000、血小板数<75000																																				

化学療法実施計画書（投与日程）

レジメン名=乳癌CMF

(対象疾病=)

《初回開始日》 年 月 日

今回〔 〕クール目

身長= _____ cm
 体重= _____ kg
 体表面積= _____ m²
 Ccr = _____

担当医

薬剤 (商品名, 一般名)	1日投与量 (/m ² or /kg)	投与法 点静・静注	投与時間 (min)	1クール投与スケジュール(日目)																														
				1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17	18	19	20	21	22	23	24	25	26	27	28	29	30	
1 エンドキサン(CPA)	100mg/body	経口		↓	↓	↓	↓	↓	↓	↓	↓	↓	↓	↓	↓																			
2 メントレキセート(MTX)	40mg/m ²	点静	30	↓							↓																							
3 5-FU	600mg/m ²	点静	15	↓							↓																							
4																																		
前投薬	5-HT ₃ 拮抗薬	1A	点静	↓							↓																							
	デキサメタゾン	8.25mg	点静	↓							↓																							
投与日程																																		
副作用																																		
1クール期間	28日	クール回数	6※	※アジュバント時																														
休薬期間																																		
☆予想される重篤副作用		脱毛、嘔気、白血球減少、口内炎																																
☆副作用対策		白血球1,000以下, 好中球500以下の時、G-CSF投与 嘔気対策としてはデキサメタゾンの前投薬、5-HT ₃ 拮抗薬等の使用。																																
☆実施中止条件	生化学項目 副作用 その他																																	

化学療法実施計画書（投与日程）

レジメン名=《2クール目以降》乳癌PER+3週毎HER+3週毎DOC

(対象疾病=)

《初回開始日》 年 月 日

今回[]クール目

身長= _____ cm
 体重= _____ kg
 体表面積= _____ m²
 Ccr = _____

担当医

薬剤 (商品名, 一般名)	1日投与量 (/m ² or /kg)	投与法 点静・静注	投与時間 (min)	1クール投与スケジュール(日目)																																
				1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17	18	19	20	21	22	23	24	25	26	27	28	29	30			
1 パージェタ(PER)《2クール目以降》	420mg※1	点静	30	↓																																
2 ハーセプチン(HER)《2クール目以降》	6mg/kg※2	点静	30	↓																																
3 ドセタキセル(DOC)	70mg/m ²	点静	60	↓																																
前投薬	5-HT ₃ 拮抗薬 デキサメタゾン	1A 点静 点静		↓ ↓																																
投与日程																																				
副作用																																				

※1:2クール目以降は420mgで投与を行う。投与予定日より6週間を超えた後に投与する際は、改めて初回投与量の840mgで投与を行う。
 ※2:2クール目以降は6mg/kgで投与を行う。投与予定日より1週間を超えた後に投与する際は、改めて初回投与量の8mg/kgで投与を行う。
 なお、次回以降は6mg/kgを3週間間隔で投与する。

1クール期間	21日	クール回数	
休薬期間			
☆予想される重篤副作用		発熱性好中球減少症、白血球減少、Infusion reaction、アナフィラキシー・過敏症、間質性肺炎、左室機能不全、下痢、心障害、24時間以内に発現するInfusion reaction 急性腎不全などの重い腎機能障害、末梢神経炎(手足のしびれ)、酔い状態(タキソールの無水エタノール溶媒のため)	
☆副作用対策		開始前心エコーでEF50%以上;初回時は入院してInfusion reactionについて監視 白血球1,000以下、好中球500以下の時G-CSF投与;好中球500以下で、発熱38℃以上の時G-CSF投与;抗生剤の内服	
☆実施中止条件	生化学項目 副作用 その他	強いアレルギー反応の出現	

化学療法実施計画書（投与日程）

レジメン名=《1クール目》乳癌CAP+HER

（対象疾病= _____）

《初回開始日》 _____ 年 _____ 月 _____ 日

今回〔 _____ 〕クール目

身長= _____ cm

体重= _____ kg

体表面積= _____ m²

Ccr = _____

担当医	

薬剤 (商品名, 一般名)	1日投与量 (/m ² or /kg)	投与法 点静・静注 経口	投与時間 (min)	1クール投与スケジュール(日目)																														
				1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17	18	19	20	21	22	23	24	25	26	27	28	29	30	
1 ハーセプチン(HER)《初回》	4mg/kg	点静	90	↓																														
2 ハーセプチン《2投目以降》	2mg/kg	点静	30														↓																	
ゼローダ(CAP):A法 体表面積	1,650mg/m ² *	経口		↓	↓	↓	↓	↓	↓	↓	↓	↓	↓	↓	↓	↓	↓	↓	↓	↓	↓	↓	↓	↓	↓	↓	↓	↓	↓	↓	↓	↓	↓	
★ゼローダ 1.31m ² 未満	900mg × 2回/日																																	
1.31~1.64m ² 未満	1,200mg × 2回/日																																	
1.64m ² 以上	1,500mg × 2回/日																																	
前投薬																																		
投与日程																																		
副作用																																		
1クール期間	28日	クール回数																																
休薬期間																																		
☆予想される重篤副作用	ハーセプチン ゼローダ	心障害, 24時間以内に現れるInfusion reaction 手足症候群(hand-foot syndrome)、肝障害																																
☆副作用対策	ハーセプチン ゼローダ	心機能評価(心エコー、MUGAスキャン) ・初回は入院してInfusion reaction に関して観察する。 手足症候群対策: 保湿クリーム(1日5回)、ビタミンB6(60mg/day連日投与)、減量、休薬																																
☆実施中止条件	生化学項目 副作用 その他																																	

